

研究課題名	脊髄損傷患者の ADL 予後に影響を与える因子の検討
研究期間	実施許可日 ~ 2027年 3月 31日
研究の対象	2015年 4月~2026年 3月の間に外傷によって受傷し、広島大学病院でリハビリテーション治療を受けられた脊髄損傷患者さん。 除外基準：転移性脊髄腫瘍など外傷以外の受傷機転の患者さん、1年後の ADL（日常生活動作）が追跡困難な患者さんは研究の対象者からは除外します。
研究の目的・方法	研究目的：脊髄損傷患者に対するリハビリテーション治療の内容と時間、導入時期が ADL の中長期予後に与える影響を明らかにする 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、ADL 予後に関する因子を解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	基本情報：年齢、性別、同居家族、在院日数、退院先 医学的情報：診断名、併存症、入院中の合併症の発生（肺炎、尿路感染症、褥瘡など）、手術の有無、損傷レベル、 心身機能：ASIA、Frankel分類、MMT、感覚評価、MAS ADL：FIM、Barthel Index、SCIM-Ⅲ QOL：Euro QOL-%D-5L リハビリテーションの内容と時間
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門 作業療法士 塩田繁人
その他	利益相反はありません
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 診療支援部リハビリテーション部門
担当者：塩田繁人
〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3
電話番号：082-257-5566